

## 地域社会における神楽の社会学的研究

迫俊道（広島市立大学大学院国際学研究科）

### 1. 研究対象としての神楽

スポーツは明治以降に西欧から日本に輸入され普及してきた。これまで近代スポーツは、“Citius, Altius, Fortius”（より速く、より高く、より強く）の標語を極限にまで追求してきた。今では新記録の樹立が困難であることに象徴されているように、近代スポーツの標語は限界に直面している(中村, 1999)。そして、近代スポーツ競技を支えてきた価値観の反省が提起され始めている。

今後は、これまでの標語とは異なる新たな価値観を模索することが必要となってくる。その新しい価値観は、近代スポーツ競技の本質的特性である「競争」「勝敗」という内的契機を有していない活動、特に日本の芸道などに見出せるのではないかと（樋口, 2002）という指摘は見聞される。日本の芸道に可能性が示唆されているが、実際に日本の芸道を考察することによって、近代スポーツの新たな価値観を提示する研究は、ほとんど未着手の状態である。

本報告者は、芸道の中でも「神楽」に注目したいと考えている。神楽は日本の各地で数百年も民衆的な楽しみという文化的な要素から切り離されることなく継承されてきた。集団としての連帯感・共生感を作り出してきた神楽には、近代スポーツには見られない特有の価値観があるのではないかとと思われる。

### 2. 広島県の神楽について

全国には約 300 以上の多様な神楽が存在し、神楽と呼ばれるものは、今日ではほとんど全国津々浦々で行われている。広島県は、その中でも最も神楽が盛んな地域と言われ、県の無形重要文化財に指定されている神楽団もある。神楽は昔から農村や山村では神事としての意味合いも強かったが、同時に唯一のレクリエーションでもあった。広島県内においても、神楽は地域によって多様な形態をとっている。米田らによって 2000 年に実施された調査によれば、広島県内の 52 市町村で 194 の神楽団体が確認されている。その中の神楽団には、江戸期以前の結成の団も見られる。また、文部省の学習指導要領が改正されたことに伴い、学校現場において、芸能活動の環境が整えられる動きも見られる。広島県には地域の人たちの活動の場としても活用される複合施設として、神楽や盆踊りを行うことができる小学校体育館も登場した。これは教育の現場にも住民の方々の知識や経験を取り入れようとする試みの現われである。また、実際に学校体育の授業の中に「神楽」を取り入れようとする実践的試みも見られる。

### 3. 神楽におけるフロー体験の特性

これまでに筆者は、能の大成者である世阿弥の残した課題を乗り越えるために、能と近接関係にある神楽に注目し、神楽におけるフロー体験に関する研究を行ってきた。全国に

は様々な形態の神楽があるが、本報告者が研究対象としたのは、神楽どころとして有名な広島県の芸北神楽である。フローとは、アメリカの心理学者、チクセントミハイによって、「全人格的に行為に没入している時に人が感ずる包括的感觉」と定義されている。先行研究(迫, 2003)では、神楽団員(舞手、楽人)、観客に対するインタビュー調査をとおして、神楽においてフロー体験が生成される過程を明らかにしている。その特徴は、「差異化」と「統合化」の結合、相互嵌入的關係という言葉によって示されている。

#### 4. 神楽において追及される価値観

神楽は地域と密接なつながりを持ちながら、地域と分断することなく、長年地域ではごくまれた伝統的な文化活動である。日本において伝統的身体技法を継承する集団の中で、これほど長く存続している集団はほとんどないと思われる。また、神楽には、家元制度がなく、ボランティアで行われてきたと言われている。

本報告の目的は、神楽に関する文献、資料、筆者がこれまでにやってきた神楽団に対するフィールドワーク、神楽の稽古の観察内容、インタビュー調査の結果を検討し、神楽の伝承がどのような価値観のもとに行われてきたのか、その内実に迫ることである。

神楽団員を対象としたインタビュー調査では、その中では、「奉納神楽(主に秋の祭礼に奉納される)」と「競演神楽(競演大会で行われる)」、どちらをより強く志向するかと尋ねた結果、被験者全員が「奉納神楽」を志向する傾向にあった。「奉納神楽」と「競演神楽」を比較考察することは、「競争原理」を内包する近代スポーツの限界性を見出し、神楽に特有な新たな価値観を提示することになるのではないだろうか。発表当日は、身体技法の稽古の特徴についても言及したい。

#### 参考文献

- 樋口聡.(2002). オリンピックの標語と「日本的感性」をめぐる美学的断章, 中村敏雄編.  
オリンピック標語の考察, 創文企画社.
- 今道友信.(1998). 芸道とは何であるか. 日本の美学(28), ペリカン社.
- 稲垣正浩.(2001). スポーツ文化の脱構築, 叢文社.
- 稲垣正浩.(1995). スポーツの後近代, 三省堂.
- 真下三郎.(1981). 広島県の神楽, 第一法規出版.
- 中村敏雄編.(1999). 境界を越えるスポーツ. スポーツ文化論シリーズ⑩, 創文企画.
- 中村敏雄編.(2001). 異文化との接点で. 現代スポーツ評論 4, 創文企画.
- 迫俊道.(2003). 芸北神楽におけるフロー. 今村浩明・浅川希洋志編. フロー理論の展開, 世界思想社.
- 佐々木順三.(1999). 神楽, 広島県高田郡美土里町本郷美土里町観光協会.
- 新藤久人.(1973). 広島県の神楽, 広島文化出版.
- 米田雄介.(2001). 神楽の変容とその社会的基盤に関する研究, 平成十二年度県立大学重点研究事業研究成果報告書.